

東京経済大学陸上競技部メールニュース 2023-3 (2023.3.15)

第26回学生ハーフマラソン結果 3月12日 立川



チーム1位 石川 (4)



チーム2位 小山 (3)



チーム3位 本田 (3)



自己新 後藤 (3)



自己新 蟹江 (4)



自己新 曾根 (2)

| | | | | |
|-----|--------|-------|-------------|-----|
| 石川 | 滉大 (4) | 64'15 | 64位 | 自己新 |
| 小山 | 優輝 (3) | 64'44 | 93位 | |
| 本田 | 大和 (3) | 66'02 | 221位 | |
| 後藤 | 亮介 (3) | 67'01 | 323位 | 自己新 |
| 蟹江 | 達樹 (4) | 67'39 | 396位 | 自己新 |
| 曾根 | 直也 (2) | 67'53 | 429位 | 自己新 |
| 高橋 | 将英 (4) | 68'58 | 536位 | 初 |
| 一ノ倉 | 彰庸 (3) | 69'14 | 559位 | 初 |
| 村松 | 丈 (2) | 69'22 | 573位 | |
| 松浦 | 礼穂 (4) | 69'23 | 575位 | |
| 福世 | 翔哉 (2) | 69'34 | 589位 | |
| 根本 | 達 (2) | 70'11 | 646位 | |
| 名取 | 空悟 (4) | 70'19 | 657位 | 初 |
| 伊藤 | 卓斗 (1) | 74'35 | 111位 (一般の部) | 初 |

※石川、小山は力通りの走りを見せてくれたが、それ以降の選手は物足りない結果に終わった。主力選手数名の欠場もあり、チームとしての状態を上げていくことが課題だ。

きさらぎマラソン in 国営昭和記念公園 2023 結果 2月4日



練習の一環で出場しました。

【3年】

石川 晃大 69' 37"

村田 悠樹 69' 38"

【2年】

後藤 亮介 69' 38"

下田 大翔 69' 36"

下津 開生 71' 32"

小山 優輝 69' 38"

本田 大和 69' 36"

【1年】

曾根 直也 69' 37"

根本 樹 69' 37"

村松 丈 69' 37"

亀井 大生 69' 36"

福世 翔哉 69' 36"

富士宮駅伝結果 2月12日 静岡県富士宮市

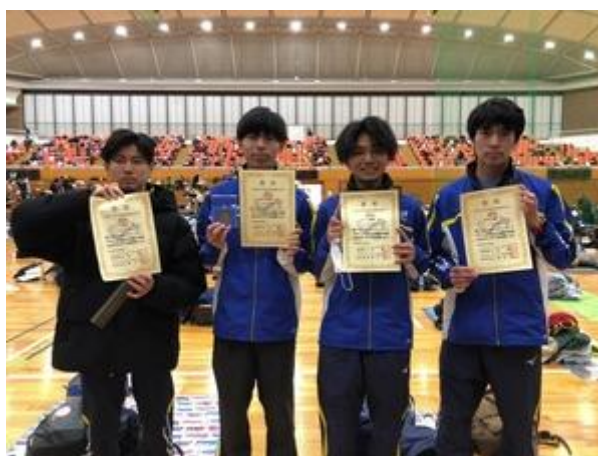


チーム

1時間 42分 28秒 7位

1区 (5.4K) 村田悠樹 (3) 17:54 14位
2区 (4.6K) 小山優輝 (2) 15:36 12位 13位
3区 (5.5K) 石川晃大 (3) 18:26 7位 9位
4区 (6.8K) 村松 丈 (1) 29:54 5位 8位
5区 (5.0K) 根本 樹 (1) 14:46 4位 8位
6区 (5.4K) 後藤亮介 (2) 15:52 9位 7位

ふかやハーフマラソン (10Km) 結果



日本学生ハーフマラソンに備え出場しました。

本田 大和(2) 30'31 3着
小山 優輝(2) 30'37 4着
石川 晃大(3) 30'51 5着
根本 樹(1) 31'03 6着
後藤 亮介(2) 31'22 9着
曾根 直也(1) 31'26 10着
福世 翔哉(1) 31'47 12着
松浦 礼穂(3) 32'07 13着
村松 丈(1) 32'37 17着
蟹江 達樹(3) 32'37 18着
一ノ倉彰庸(2) 32'52 20着
高橋 将英(3) 32'56 22着
亀井 大生(1) 36'06 38着

小平市民駅伝

2月5日

～大会運営のお手伝いをしました～



3年ぶりに開催された小平市市民駅伝に補助員20名を派遣し、チームとしては前日にハーフマラソンを走ったメンバーで組んだ3チームが出場しました。

補助員は沿道観察員、先頭・後尾誘導員として、主にスプリントブロックの選手、マネージャーが手伝ってくれました。また、競技成績では3チームともに大会新記録で1位から3位独占、4区間で東経大が区間新、そのうち3区間で区間新記録を樹立しました。

2022 年度卒業生送別会兼年間表彰式



※写真撮影時のみマスクを外しています。

ホテルエミシア東京立川において 2022 年度卒業生送別会兼年間表彰式を開催しました。

式典としては 3 年ぶりの開催で、卒業生 19 名と現役学生、部長、副部長、父母会役員、OB、指導者が一同に会しました。

会は北山聡部長、星川忠晴葵走会会長、森田明父母の会会長の祝辞の後、卒業生送別会に先だって、年間表彰式が行われ特別功労賞兼部長賞には大川歩夢（4）が選出され、最優秀選手賞に森田将貴（4）など 12 名（下記受賞者）が各賞を受賞しました。

引き続き行われた卒業生送別会は、スプリント・駅伝ブロック両主将の贈る言葉のあと、現役学生から卒業生へ記念品と花束贈呈、卒業生からの心温まるお礼の言葉等であつという間に終了時間となり、塚田裕葵走会副会長の 3 本締めでお開きとなりました。

終了後も別れを惜しんでOB、後輩たちが卒業生を囲んでいました。

<2022 年度年間表彰式受賞候補者>

特別功労賞兼部長賞 大川歩夢（4）

5000m・13.39.00、10000m・28.33.02、ハーフ・1.03.09、3000m S C・8.53.64 の 4 種目で東経新樹立。2 年次に箱根駅伝関東学生連合に選抜され 6 区を走破、今季は関東インカレ 10000m で 4 位入賞を果たすなど、東経大駅伝ブロック選手として輝かしい歴史を作ってくれた。

最優秀選手賞 森田将貴（4）

100m10.41 東経新、日本グランプリ出場

新人賞 根本 達（1）

5000m14.28.95、10000m29.48.41 を樹立

新人賞 村松 丈（1）

5000m14.23.99、10000m29.59.92 を樹立

副部長賞 松山志成（4）

コロナによって活動に様々な制限が課されていた中、主務として活動再開に尽力し、明治学院

対校戦の幹事を務めあげ、大阪経済大学対校戦の開催準備にも協力してくれた。

敢闘賞 大沢彩斗 (3)

関東 IC 砲丸投げ 8 位入賞

奨励賞 村田悠樹 (3)

29.20.38 は 3 年生以下 10000m で今季トップ

奨励賞 小山優輝 (2)

関東インカレハーフ 64.17 20 位・自己新 箱根予選会チームトップ

監督賞

渡邊礼恩 (4) 寮長としてその責務を完ぺきにこなし寮のスムーズな運営に貢献した。

石川晃大 (3) 10000m で 29.31.22

福井悠斗 (3) 10000m で 29.35.08

高橋将英 (3) 10000m で 29.47.80

小川菜央 (3) 主務として 10 大戦の幹事を見事に努めあげた。